

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月28日

事業者名: 株式会社 岐阜新聞社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	①【長良川を美しくしよう運動】清流長良川の環境を守るため、「長良川を美しくしよう運動」を1973年に提唱し、年3回、河畔の清掃活動を行っている。市民や企業にボランティア参加を呼び掛け、毎回3千人以上が参加。 ②【飛騨の広葉樹を活用】製材する際に出る木の表皮を再利用した屋台を作り、イベントに出店。	⑮森の豊かさを守ろう、 ⑭海の豊かさを守ろう	①50年にわたる活動で「長良川を美しくしよう運動」の認知度が高まり、広く浸透していると考えられる。	指標	①企業や市民ボランティアの参加人数
				目標	①毎回、3千～6千人のボランティアが参加している。この参加人数を維持しながら、さらに賛同の輪を広げ、長良川を美しくしよう運動を継続する。
社会	①【歳末助け合い運動】寄せられた寄託金を原資に、岐阜新聞岐阜放送社会事業団を通じて、岐阜県や市町村へ防災用品、学習教材などを寄贈するほか、岐阜県内で活動する福祉団体や伝統文化の保存・発展のために活動する団体に対する助成を毎年行っている。 ②【チャリティー色紙展・小品展】県ゆかりの書作家らが善意で寄せた書などの作品約270点を展示し、入札形式で販売する展覧会。収益の一部を岐阜新聞社岐阜放送社会事業団へ寄託し、社会福祉に役立てている。 ③【健康経営】従業員の健康診断、ドック受診を徹底し病気の早期発見、早期治療につなげる。また運動奨励やヘルシーメニューを提供して従業員の健康保持・増進に努めている。	③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑪住み続けられるまちづくりを	①②毎年、岐阜県や市町村へ防災用品、学習教材などを寄贈。また岐阜県内で活動する福祉団体や伝統文化の保存・発展のために活動する団体に対する助成も行っている。 ③健康経営優良法人（中小規模法人部門）に2022年、23年と2年連続で認定。また毎月、社内向けにハラスメント防止研修もしくはメンタルヘルス研修を行っている。年1回、健康教室も開催。	指標	①②助成額及び福祉用品 ③健康診断受診、再検査受診率
				目標	①②2023年度には25団体に計360万円助成。助成額のが増額、維持に努める。 ③2024年度内に健康診断受診100%、再検査受診70%以上を目指す。
経済	①「キッズタウンぎふ」を主催。年長児から小学6年を対象にしたお仕事体験イベントで、様々なお仕事や仮想マネーのやり取りを体験してもらおう。社会の仕組みを学び、地元企業との交流を通して働くこと、やりがいを知ってもらう機会を創出。 ②商業施設と協働でSDGs発信。SDGsをテーマに様々なイベントを開催。 ③サステナブルな県産品の詰め合わせ「MINATOBako（みなとぼこ）」販売。県内各地の事業者から集めた環境に配慮した商品の一つの箱に詰めたギフト事業で、「贈り物もサステナブルな時代に」をキャッチコピーに、県内のSDGsに取り組む事業者を支援している。	⑰パートナーシップで目標を達成しよう、⑧働きがいも経済成長も、⑫つくる責任 つかう責任	①2019年から毎年開催。2023年で5回目。 ②日本織研新聞社が主催する「テナントが選んだディベロッパー大賞」の社会貢献賞を2021年、22年と2年連続で受賞した。 ③2022年7月にスタートし、23年8月時点で第3弾まで販売している。	指標	①開催回数 ②SDGsのウェブサイト構築 ③県産商品の掘り起こし、サブスクモデル確立
				目標	①2028年に第10回記念開催。 ②10月にサイトを立ち上げ、賛同者を増やしながらいイベントを開催していく。2030年にはSDGsフェスティバルを開催する。 ③第1～3弾まで13事業者が協力。協力事業者を増やし、2024年以降、サブスクモデル確立を目指す。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 2021年7月に岐阜新聞SDGs宣言を行い、取り組むべき4重点項目を決定した。重点項目に沿って、地域社会の課題解決を目的とした事業を展開している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 取り組み重点項目・事例記載ページ： https://www.gifu-np.co.jp/gsd/gifusdgs/			
	<input checked="" type="checkbox"/>				